



▲個人優勝の表彰状を受け取る岩吉帝虎選手（桜木柔道クラブ所属）

## 岩吉帝虎選手が九州大会で優勝 第43回九州少年柔道大会

7月12日（土）・13日（日）クラサス武道スポーツセンター（大分）で開催された第43回九州少年柔道大会に、岩吉帝虎選手（龍野小1年・上早川2区）が出場しました。岩吉選手は大将として出場した団体戦と個人戦の計11試合すべてで1本勝ちをおさめ優勝、2冠を達成しました。岩吉選手は「これからも1本勝ちできるように頑張ります」と抱負を述べました。

## 自然に触れて心豊かに 野外キャンプ「あつまれ子どもたち」

7月31日（木）・8月1日（金）、川平キャンプ場で野外キャンプ「あつまれ子どもたち」が開催されました。同イベントは、1泊2日のキャンプを通して緑川などの自然に親しむとともに、子どもたちが共同生活を行うことで団体行動の大切さを体験することを目的に、町青少年健全育成町民会議と町教育委員会が主催。町内の小学生16人が参加しました。

子どもたちは各班に分かれ、協力して行動。1日目の昼食は飯ごうでご飯を炊いて、自分たちでカレーライスを作りました。その後、カヌー体験などの川遊びを通して自然を満喫。川遊びを終えた子どもたちはおやつのスイカを食べ、夜はBBQと花火を楽しみました。2日目の木工教室ではパズル作りに挑戦。糸のこぎりを使い板を削って好きな形を作りました。子どもたちからは「糸のこぎりでまっすぐ切れて嬉しい」、「友達がたくさんできて嬉しかった」などの感想が寄せられ、思い出に残る夏休みを過ごしました。



▲鹿生田頭首工付近の被害状況を確認する自民党の坂本国会対策委員長

## 西寒野の農業用堰を視察 坂本哲志国会対策委員長が本町の被害状況を確認

8月16日（土）、自民党の坂本哲志国会対策委員長が豪雨で被害を受けた農業用堰「鹿生田頭首工」を視察。同堰は、豪雨でゲートを操作する施設の一部が流失し、西寒野地区の水田約23<sup>せき</sup>畝への通水ができない状況です。甲斐町長と町土地改良区の遠山理事長とともに被害状況を確認した坂本委員長は、「国土改良区関係者に働きかけ工事を急ぎたい」と話しました。

▼川平キャンプ場前の緑川でカヌー体験を楽しむ子どもたち



▲木工教室で完成させたパズル



▲スイカを食べる子どもたち



▲文化交流 BBQ で交流を深める参加者

## 地元で世界とつながる 1 日を ダイバーシティ甲佐 [文化交流 BBQ]

8月1日(金) COMMON IDOE で、文化交流 BBQ が開催されました。甲佐高校生と日本で働く外国籍の皆さんが楽しく交流することを目的に谷田病院主体のもと開催。BBQ やゲームで楽しく仲を深めた後は、甲佐高校生の案内のもと甲佐神社、やな場など観光スポットを散策し、本町の魅力を伝えました。最後はそうめん流し体験をし、甲佐の夏を満喫しました。

## 甲佐町夏の風物詩 第74回あゆまつりが開催

7月27日(日)、市街地および中甲橋グリーンパークほかで第74回あゆまつりが開催されました。快晴のなか開催されたあゆまつりは、夏休みに入った学生や子ども連れの家族など、町内外の大勢の人たちでにぎわいました。

午前中の子どもみこしでは、元気にみこしを担ぎ商店街を練り歩く子どもたち、道沿いに出て祭りを楽しむ町民の姿も見え、にぎやかな空気に包まれました。

大人気のあゆのつかみ取り大会では、水しぶきをあげながらプールを走り回り、アユを捕まえた子どもたちの楽しそうな声があふれました。

提灯の明かりが灯る頃、商店街では総盆踊り大会、ステージイベントでは天草サーカスのショーや小巻組のヨサコイが披露され、祭りの盛り上がりは最高潮に。祭りのフィナーレは、約3000発の花火が甲佐の夜空を彩り、観客はしばし夏の暑さを忘れて咲き誇る大輪の花火に見入りました。



▲故山崎警部補の慰霊碑に黙とうをささげる参加者たち

## 地域の安心を守る誓いの日 故山崎警部補慰霊祭

7月31日(木)、仁田子の緑川河川敷に鎮座する故山崎貴仁警部補の遺徳をしのび、慰霊祭が開催されました。慰霊祭は、昭和46年7月31日に、大雨で増水した緑川の中州で、助けを求める中学生の救助活動中に殉職した山崎警部補の意思を受け継ぐために、御船警察署が毎年、同人の命日に実施。参加者は黙とうをささげた後、御船警察署長の訓示を受け、決意を新たにしました。



▲あゆのつかみ取りの様子



▲優勝した岩下二区の子どもみこし